和牛産肉能力検定(現場後代検定法:平成17年度)

<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>内容</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>誌名</td>
<td>岡山県総合畜産センター研究報告 = Bulletin of the Okayama Prefectural Center for Animal Husbandry &amp; Research</td>
</tr>
<tr>
<td>ISSN</td>
<td>09154728</td>
</tr>
<tr>
<td>著者</td>
<td>岡本, 雄太&lt;br&gt;片岡, 博行&lt;br&gt;平本, 圭二</td>
</tr>
<tr>
<td>巻/号</td>
<td>17号</td>
</tr>
<tr>
<td>掲載ページ</td>
<td>p. 69-76</td>
</tr>
<tr>
<td>発行年月</td>
<td>2008年3月</td>
</tr>
</tbody>
</table>
＜資料＞
和牛産肉能力検定（現場後代検定法：平成17年度）
岡本雄太・片岡博行・平本圭二

Progeny Test of Sire in Japanese Black Cattle
Yuta OKAMOTO, Hiroyuki KATAOKA and Keiji HIRAMOTO

要約
候補種雄牛の産肉能力を調査するため、社団法人全国和牛登録協会の定める現場後代検定法に基づいて後代検定を実施した。
1. 平成17年度は、花茂勝2、第5北盛、北乃藤、利藤、藤高160、宗花、酉花8、藤幸桜、平鐔、初華、について現場後代検定を実施し、花茂勝2、第5北盛、北乃藤の検定が終了した。
2. 現場後代検定終了牛の育種価（第23回育種価）を見ると、
   1）花茂勝2は枝肉重量が68.593（3%）、ロース芯面積が5.612（A2）、脂肪交雑が1.423（1%）であった。
   2）第5北盛は枝肉重量が97.114（1%）、ロース芯面積が5.832（A2）、脂肪交雑が1.536（1%）であった。
   3）北乃藤は枝肉重量が57.802（5%）、ロース芯面積が9.400（1%）、脂肪交雑が0.950（A2）であった。
3. 以上の結果を基に岡山県和牛改良委員会で審議したところ、花茂勝2及び第5北盛が基幹種雄牛に選抜された。
4. 肉用牛広域後代検定推進事業において花茂勝2および第5北盛が全国共同利用種雄牛に選抜された。

キーワード：和牛、種畜、産肉能力、現場後代検定

緒言
和牛経営においては、繁殖利用の産肉性並びに種畜性の改良は重要なウェイトを占めているが、このためには、早期に種雄牛の産肉能力を改良することが不可欠である。そこで、産肉能力検定（直接法）で選抜された候補種雄牛について、産肉能力を判定するために現場後代検定を実施した。

材料及び方法
1. 検定種雄牛
   現場後代検定を実施する検定種雄牛は、産肉能力検定（直接法）において、1日当たり増体重、飼料の利用性及び体型等により選抜された候補種雄牛で、その概要を表1に示した。

2. 検定調査牛
   検定調査牛は、繁殖農家が飼育している雌牛に無作為に調整交配を行い、その産子を検定調

検查牛とした。

3. 検定方法
   検定方法は、社団法人全国和牛登録協会の定める現場後代検定法に準拠し、次のとおり実施した。
   （1）肥育開始月齢：13カ月齢未満
   （2）肥育終了月齢：去勢牛29カ月齢未満
       雌牛32カ月齢未満
   （3）検定頭数及び検定期間
       検定頭数及び検定期間は表2に示した。
   （4）検定飼料
       検定飼料は、各検定農家（表3）で使用しているものとした。
       当センターの使用した検定飼料は次のとおり。
       濃厚飼料：肥育前期用（TDN:70%, DCP:12%）
       肥育中期用（TDN:74%, DCP:9.5%）
検定調査項目

表1 検定種牡牛

<table>
<thead>
<tr>
<th>名号</th>
<th>登録番号</th>
<th>生年月日</th>
<th>祖母</th>
<th>母</th>
<th>父</th>
<th>順位</th>
<th>検定成績</th>
<th>産地</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>花茂勝2</td>
<td>黒原4033</td>
<td>H1.1.12</td>
<td>北信7の8</td>
<td>藤</td>
<td>藤</td>
<td>1.35kg</td>
<td>真庭</td>
<td>新庄村</td>
</tr>
<tr>
<td>第5北盛</td>
<td>黒13324</td>
<td>H1.6.28</td>
<td>平</td>
<td>田</td>
<td>平</td>
<td>1.50kg</td>
<td>美</td>
<td>作市</td>
</tr>
<tr>
<td>北乃藤</td>
<td>黒原4032</td>
<td>H1.1.16</td>
<td>信7の8</td>
<td>藤</td>
<td>藤</td>
<td>1.37kg</td>
<td>新</td>
<td>見市</td>
</tr>
<tr>
<td>利藤</td>
<td>黒原4197</td>
<td>H2.2.8</td>
<td>利</td>
<td>花</td>
<td>ぶつばな</td>
<td>紋</td>
<td>1.28kg</td>
<td>高</td>
</tr>
<tr>
<td>藤高160</td>
<td>黒13420</td>
<td>H2.7.15</td>
<td>藤</td>
<td>藤</td>
<td>高</td>
<td>1.25kg</td>
<td>真</td>
<td>庭市</td>
</tr>
<tr>
<td>西花8</td>
<td>黒原4343</td>
<td>H2.12.5</td>
<td>利</td>
<td>花</td>
<td>はつはな</td>
<td>藤</td>
<td>1.21kg</td>
<td>高</td>
</tr>
<tr>
<td>宇花</td>
<td>黒原4287</td>
<td>H3.2.20</td>
<td>利</td>
<td>花</td>
<td>第むねざぐら</td>
<td>安美</td>
<td>1.28kg</td>
<td>新</td>
</tr>
<tr>
<td>藤幸桜</td>
<td>黒原4344</td>
<td>H3.9.8</td>
<td>沢</td>
<td>土</td>
<td>はつひめ5</td>
<td>藤</td>
<td>1.17kg</td>
<td>真</td>
</tr>
<tr>
<td>平鶴</td>
<td>黒原4646</td>
<td>H4.7.23</td>
<td>平</td>
<td>花</td>
<td>ふくつる2</td>
<td>谷</td>
<td>1.50kg</td>
<td>久</td>
</tr>
<tr>
<td>初華</td>
<td>黒原4643</td>
<td>H4.11.15</td>
<td>利</td>
<td>花</td>
<td>はつはな2の10</td>
<td>北鶴</td>
<td>藤</td>
<td>1.08kg</td>
</tr>
</tbody>
</table>

表2 検定頭数及び検定期間

<table>
<thead>
<tr>
<th>名号</th>
<th>総合</th>
<th>品種</th>
<th>菅牧</th>
<th>動英</th>
<th>麦草</th>
<th>合計</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>花茂勝2</td>
<td>6</td>
<td>1</td>
<td>8</td>
<td>5</td>
<td>1</td>
<td>15</td>
</tr>
<tr>
<td>第5北盛</td>
<td>2</td>
<td>6</td>
<td>4</td>
<td>3</td>
<td>1</td>
<td>10</td>
</tr>
<tr>
<td>北乃藤</td>
<td>6</td>
<td>4</td>
<td>4</td>
<td>2</td>
<td>1</td>
<td>10</td>
</tr>
<tr>
<td>利藤</td>
<td>6</td>
<td>4</td>
<td>2</td>
<td>2</td>
<td>1</td>
<td>10</td>
</tr>
<tr>
<td>藤高160</td>
<td>6</td>
<td>5</td>
<td>1</td>
<td>3</td>
<td>1</td>
<td>10</td>
</tr>
<tr>
<td>西花8</td>
<td>2</td>
<td>4</td>
<td>5</td>
<td>7</td>
<td>3</td>
<td>10</td>
</tr>
<tr>
<td>宇花</td>
<td>3</td>
<td>1</td>
<td>3</td>
<td>5</td>
<td>1</td>
<td>9</td>
</tr>
<tr>
<td>藤幸桜</td>
<td>6</td>
<td>2</td>
<td>3</td>
<td>1</td>
<td>1</td>
<td>10</td>
</tr>
<tr>
<td>平鶴</td>
<td>3</td>
<td>4</td>
<td>3</td>
<td>2</td>
<td>1</td>
<td>9</td>
</tr>
<tr>
<td>初華</td>
<td>5</td>
<td>5</td>
<td>4</td>
<td>1</td>
<td>2</td>
<td>17</td>
</tr>
</tbody>
</table>

検定期間: H1.4.5.9 〜 H1.7.5.26
検定成績

1 検定終了牛の検定成績
平成 17 年度に検定が終了した花茂勝 2、第 5 北盛並びに北乃藤の検定成績は次のとおりである。

（1）花茂勝 2
花茂勝 2 は去勢 15 頭、雌 6 頭の計 21 頭で検定を終了し、検定成績は表 5、また個体毎の検定成績については別表 1 に示した。

イ 枝肉成績
出荷月齢について見ると、雌では 29.6 カ月齢、去勢では 28.0 カ月齢であった。枝肉成績について見ると、枝肉重量 471.5kg で 43.7kg、ロース芯面積 54.3c㎡で 3.3c㎡、BMS No は 5.8 で 0.9 ポイント、いずれも全体平均より大きい値を示し、当センターにおける検定期間中の D G は平均 0.70 であった。

ア 育種価成績
第 23 回育種価を見ると、枝肉重量 68.593(3%)、ロース芯面積が 5.612(A2)、脂肪交雑が 1.423(1%)であり、高い遺伝能力が示唆された。

（2）第 5 北盛
第 5 北盛は去勢 6 頭、雌 9 頭の計 15 頭で検定を終了し、検定成績は表 6、また個体毎の検定成績については別表 2 に示した。

イ 枝肉成績
出荷月齢について見ると、去勢で 28.1 カ月齢、雌で 29.5 カ月齢であった。枝肉成績についてみると、枝肉重量で 467.3kg で 39.2kg、ロース芯面積は 53.0c㎡で 2.0c㎡脂肪交雑は 6.2 で 1.3 ポイント全体平均より大きい値であり、高い産肉能力が示された。

表 3 検定場所
<table>
<thead>
<tr>
<th>検定農家名</th>
<th>住 所</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>岡山県総合畜産センター</td>
<td>久米郡美咲町</td>
</tr>
<tr>
<td>(有)哲多和牛牧場</td>
<td>新見市哲多町</td>
</tr>
<tr>
<td>JA 勝英肉用牛センター</td>
<td>勝田郡奈義町</td>
</tr>
<tr>
<td>JA 阿新千屋肉用牛センタ</td>
<td>新見市千屋</td>
</tr>
<tr>
<td>江草牧場</td>
<td>高梁市備中平川</td>
</tr>
</tbody>
</table>

表 4 育種価のランク評価
<table>
<thead>
<tr>
<th>ランク</th>
<th>ランクの示す範囲</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1 %</td>
<td>上位 1 %以上</td>
</tr>
<tr>
<td>3 %</td>
<td>上位 3 %以上 1 %未満</td>
</tr>
<tr>
<td>5 %</td>
<td>上位 5 %以上 3 %未満</td>
</tr>
<tr>
<td>A 1</td>
<td>上位 10 %以上 5 %未満</td>
</tr>
<tr>
<td>A 2</td>
<td>上位 15 %以上 10 %未満</td>
</tr>
<tr>
<td>A 3</td>
<td>上位 25 %以上 15 %未満</td>
</tr>
<tr>
<td>B 1</td>
<td>上位 33 %以上 25 %未満</td>
</tr>
<tr>
<td>B 2</td>
<td>平均以上上位 33 %未満</td>
</tr>
<tr>
<td>C</td>
<td>平均未満</td>
</tr>
</tbody>
</table>

イ 育種価成績
第 23 回育種価を見ると、枝肉重量が 97.114(1%)、ロース芯面積が 5.832(A2)、脂肪交雑が 1.536(1%)であり、高い遺伝能力が示唆された。

（3）北乃藤
北乃藤は去勢 10 頭、雌 6 頭の計 16 頭で検定を終了し、検定成績は表 7、また個体毎の検定成績については別表 3 に示した。

ア 枝肉成績
出荷月齢について見ると去勢で 28.1 カ月齢、雌で 30.6 ヶ月齢であった。枝肉成績について見ると枝肉重量は 457.2kg で 29.4kg、ロース芯面積は 56.5m²で 5.5m²、全体平均より大きい値を示したが、BMSNo. は 5.2 で平均的な結果となった。検定期間中の D G は去勢 0.87、雌 0.67 であり、特に去勢において良好な増価が示された。

イ 育種価成績
第 23 回育種価を見ると、枝肉重量が 57.802(5%)、ロース芯面積が 9.400(1%)、脂肪交雑が 0.950(A2)であり、他の 2 頭と比べ脂肪交雑がやや劣る結果となった。

2. 選抜結果
以上の結果を基に岡山県和牛改良委員会で審議した結果、花茂勝 2 及び第 5 北盛が基幹種雄牛として選抜された。また、肉用牛広域後代検定推進事業において全国評価をした結果、花茂勝 2 および第 5 北盛が全国共同利用種雄牛に選抜された。
表 5 「花茂勝2」検定成績

| 区分 | 開始月 | 開始時 | 検定期間 | 終了時 | 出荷 | 枝肉成績 | 第23回育種価
<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>月齢</td>
<td>体重</td>
<td>G* 体重</td>
<td>月齢</td>
<td>枝肉重量</td>
<td>D*血面積</td>
<td>BMSNO.</td>
</tr>
<tr>
<td>花茂勝2</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>去勢 (15頭)</td>
<td>8.6</td>
<td>263.8</td>
<td>0.70</td>
<td>765.2</td>
<td>28.0</td>
<td>477.2</td>
<td>53.1</td>
</tr>
<tr>
<td>雌 (8頭)</td>
<td>9.0</td>
<td>231.7</td>
<td>0.69</td>
<td>652.0</td>
<td>29.6</td>
<td>457.2</td>
<td>57.5</td>
</tr>
<tr>
<td>平均</td>
<td>8.7</td>
<td>257.3</td>
<td>0.70</td>
<td>671.3</td>
<td>28.5</td>
<td>471.5</td>
<td>54.3</td>
</tr>
<tr>
<td>全体</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
</tr>
</tbody>
</table>

* 検定期間DGおよび終了時体重は総合畜産センター（去勢8頭、雌1頭）

表 6 「第5北盛」検定成績

| 区分 | 開始月 | 開始時 | 検定期間 | 終了時 | 出荷 | 枝肉成績 | 第23回育種価
<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>月齢</td>
<td>体重</td>
<td>G* 体重</td>
<td>月齢</td>
<td>枝肉重量</td>
<td>D*血面積</td>
<td>BMSNO.</td>
</tr>
<tr>
<td>第5北盛</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>去勢 (6頭)</td>
<td>8.7</td>
<td>257.0</td>
<td>0.68</td>
<td>724.0</td>
<td>28.1</td>
<td>454.5</td>
<td>48.8</td>
</tr>
<tr>
<td>雌 (9頭)</td>
<td>9.1</td>
<td>252.0</td>
<td>0.73</td>
<td>720.3</td>
<td>29.5</td>
<td>475.9</td>
<td>55.8</td>
</tr>
<tr>
<td>平均</td>
<td>9.0</td>
<td>254.0</td>
<td>0.72</td>
<td>721.3</td>
<td>28.6</td>
<td>467.3</td>
<td>53.0</td>
</tr>
<tr>
<td>全体</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
</tr>
</tbody>
</table>

* 検定期間DGおよび終了時体重は総合畜産センター（去勢2頭、雌5頭）

表 7 「北乃藤」検定成績

| 区分 | 開始月 | 開始時 | 検定期間 | 終了時 | 出荷 | 枝肉成績 | 第23回育種価
<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>月齢</td>
<td>体重</td>
<td>G* 体重</td>
<td>月齢</td>
<td>枝肉重量</td>
<td>D*血面積</td>
<td>BMSNO.</td>
</tr>
<tr>
<td>北乃藤</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>去勢 (10頭)</td>
<td>8.1</td>
<td>236.6</td>
<td>0.87</td>
<td>776.7</td>
<td>28.1</td>
<td>467.7</td>
<td>56.4</td>
</tr>
<tr>
<td>雌 (6頭)</td>
<td>7.9</td>
<td>215.8</td>
<td>0.67</td>
<td>693.5</td>
<td>30.6</td>
<td>439.8</td>
<td>56.7</td>
</tr>
<tr>
<td>平均</td>
<td>8.1</td>
<td>228.8</td>
<td>0.81</td>
<td>743.4</td>
<td>29.0</td>
<td>457.2</td>
<td>56.5</td>
</tr>
<tr>
<td>全体</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
</tr>
</tbody>
</table>

* 検定期間DGおよび終了時体重は総合畜産センター（去勢2頭、雌5頭）

**育種価は18頭の枝肉データから算出

参考文献

1) （社）全国和牛登録協会編  
（平成 12 年度版）  
和牛登録事務必携. 154-156
<table>
<thead>
<tr>
<th>名</th>
<th>月日</th>
<th>花粉数</th>
<th>植物群</th>
<th>野草</th>
<th>植物群</th>
<th>野草</th>
<th>植物群</th>
<th>野草</th>
<th>全8種</th>
<th>花粉1４の数</th>
<th>花粉1４の数</th>
<th>花粉1４の数</th>
<th>花粉1４の数</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>岡山県 共同養蜂業者研究報告 第17号</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>佐野 青野</td>
<td>2002年6月12日</td>
<td>407459</td>
<td>407485</td>
<td>410233</td>
<td>408757</td>
<td>408756</td>
<td>410221</td>
<td>410222</td>
<td>427285</td>
<td>437581</td>
<td>437580</td>
<td>437579</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
### 別表1-2 現場後検定成績

<table>
<thead>
<tr>
<th>名称</th>
<th>他社のC1.4.6.2</th>
<th>他社のC1.4.6.4</th>
<th>名称</th>
<th>他社のC1.4.6.2</th>
<th>他社のC1.4.6.4</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>甲真馬</td>
<td>甲真馬</td>
<td>甲真馬</td>
<td>甲真馬</td>
<td>甲真馬</td>
<td>甲真馬</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>名称</th>
<th>他社のC1.4.6.2</th>
<th>他社のC1.4.6.4</th>
<th>名称</th>
<th>他社のC1.4.6.2</th>
<th>他社のC1.4.6.4</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>甲真馬</td>
<td>甲真馬</td>
<td>甲真馬</td>
<td>甲真馬</td>
<td>甲真馬</td>
<td>甲真馬</td>
</tr>
</tbody>
</table>

### 別表1-3 花 prosperity 2（全体）

<table>
<thead>
<tr>
<th>名称</th>
<th>年</th>
<th>月</th>
<th>日</th>
<th>年</th>
<th>月</th>
<th>日</th>
<th>年</th>
<th>月</th>
<th>日</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>甲真馬</td>
<td>甲真馬</td>
<td>甲真馬</td>
<td>甲真馬</td>
<td>甲真馬</td>
<td>甲真馬</td>
<td>甲真馬</td>
<td>甲真馬</td>
<td>甲真馬</td>
<td>甲真馬</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>名称</th>
<th>年</th>
<th>月</th>
<th>日</th>
<th>年</th>
<th>月</th>
<th>日</th>
<th>年</th>
<th>月</th>
<th>日</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>甲真馬</td>
<td>甲真馬</td>
<td>甲真馬</td>
<td>甲真馬</td>
<td>甲真馬</td>
<td>甲真馬</td>
<td>甲真馬</td>
<td>甲真馬</td>
<td>甲真馬</td>
<td>甲真馬</td>
</tr>
</tbody>
</table>
### 別表2 現場後治癒成績
#### 第5北緯（全試験）

<table>
<thead>
<tr>
<th>名</th>
<th>生年月日</th>
<th>平均値</th>
<th>順位</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>本</td>
<td>2</td>
<td>7</td>
<td>12</td>
</tr>
<tr>
<td>本</td>
<td>2</td>
<td>7</td>
<td>12</td>
</tr>
</tbody>
</table>

### 別表2-3 現場後治癒成績
#### 第5北緯（全試験）

<table>
<thead>
<tr>
<th>名</th>
<th>生年月日</th>
<th>平均値</th>
<th>順位</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>本</td>
<td>2</td>
<td>7</td>
<td>12</td>
</tr>
<tr>
<td>本</td>
<td>2</td>
<td>7</td>
<td>12</td>
</tr>
</tbody>
</table>
### 別表3 現場後検出具備

<table>
<thead>
<tr>
<th>名称</th>
<th>平均</th>
<th>標準偏差</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>生産年度</td>
<td>5.2</td>
<td>1.1</td>
</tr>
<tr>
<td>合同会社</td>
<td>6.3</td>
<td>1.0</td>
</tr>
<tr>
<td>平均</td>
<td>8.5</td>
<td>1.0</td>
</tr>
<tr>
<td>観察日</td>
<td>10.2</td>
<td>1.0</td>
</tr>
<tr>
<td>検品</td>
<td>12.2</td>
<td>1.2</td>
</tr>
<tr>
<td>合同会社</td>
<td>14.3</td>
<td>1.3</td>
</tr>
</tbody>
</table>

### 別表3-2 現場後検出具備北乃離（続）

<table>
<thead>
<tr>
<th>名称</th>
<th>平均</th>
<th>標準偏差</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>生産年度</td>
<td>5.2</td>
<td>1.1</td>
</tr>
<tr>
<td>合同会社</td>
<td>6.3</td>
<td>1.0</td>
</tr>
<tr>
<td>平均</td>
<td>8.5</td>
<td>1.0</td>
</tr>
<tr>
<td>観察日</td>
<td>10.2</td>
<td>1.0</td>
</tr>
<tr>
<td>検品</td>
<td>12.2</td>
<td>1.2</td>
</tr>
<tr>
<td>合同会社</td>
<td>14.3</td>
<td>1.3</td>
</tr>
</tbody>
</table>

### 別表3-3 北乃離（全体）

<table>
<thead>
<tr>
<th>名称</th>
<th>平均</th>
<th>標準偏差</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>生産年度</td>
<td>5.2</td>
<td>1.1</td>
</tr>
<tr>
<td>合同会社</td>
<td>6.3</td>
<td>1.0</td>
</tr>
<tr>
<td>平均</td>
<td>8.5</td>
<td>1.0</td>
</tr>
<tr>
<td>観察日</td>
<td>10.2</td>
<td>1.0</td>
</tr>
<tr>
<td>検品</td>
<td>12.2</td>
<td>1.2</td>
</tr>
<tr>
<td>合同会社</td>
<td>14.3</td>
<td>1.3</td>
</tr>
</tbody>
</table>

### 別表3-4 北乃離（去勢）

<table>
<thead>
<tr>
<th>名称</th>
<th>平均</th>
<th>標準偏差</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>生産年度</td>
<td>5.2</td>
<td>1.1</td>
</tr>
<tr>
<td>合同会社</td>
<td>6.3</td>
<td>1.0</td>
</tr>
<tr>
<td>平均</td>
<td>8.5</td>
<td>1.0</td>
</tr>
<tr>
<td>観察日</td>
<td>10.2</td>
<td>1.0</td>
</tr>
<tr>
<td>検品</td>
<td>12.2</td>
<td>1.2</td>
</tr>
<tr>
<td>合同会社</td>
<td>14.3</td>
<td>1.3</td>
</tr>
</tbody>
</table>